

如月愛南文芸

篠南川柳会

暗す間ではいたズボンはうしろの前
忘れそう暗証番号裏に書く
暗がりで出口探して四つんばい
寒暖差脱いだり着たり忙がしい
長男は墓守りという使命負い
熱湯で入れたコーヒー飲みやけど
ゆつくりと歩く楽しさ遠回り
あの月が潮を引つ張るおし戻す
雲に乗り世界一周してみたい

さわらび短歌会

ようやつと登り着きたる奥津城の
目の前に映る古きわが家
財もなく才もなければ豊かなる
心で迎えし七回目の干支

モツチャン

安子

千代子

さつき

すみ子

みち子

千鶴

芝三

木本

駄々をこね泣く事さえも微笑まし
我が家の正月孫を囲みて
猫一匹が横切る静寂

澤近

藤井

前田

前田

扇野

水野

松本

前田

前田

前田

我が家の正月孫を囲みて
娘は新しき暦をめくる
おおかたは白くなりたるわが髪を
娘は手櫛でなでつけくるる
暖かくなれば会おうよ病む友と
約束交わす寒に入る朝
散り残る公孫樹並木見ゆかつて
われの十余年通いしがんセンター跡
わが町の道の駅舎のロボットは
「ようきななはったなあし」と双手を広く
庚子は六十年毎巡りくる
島の翁は二度祝いたり

澤近 正弘

藤井 擴

前田 充

前田 充

扇野 八代生

水野 美代子

松本 マス子

前田 知子

前田 昭夫

巻き寿しを最後にひとつ食べた母
早三回忌好物供える

菊川俳句会

冬の磯タルマ夕陽を待つ人等
冬至くる宇高フェリーの光が消えて
初茜ちぎれた赤い糸遠く
一口とまた一口と熱燗に
ろうかまでひびく笑む声六花
廃校の記おく残りし枯木かな
康らかに疼く初雪左心房
初日記えんぴつのしん丸くなる

野崎 幸子

村尾加都子

中川 一喜

鶴川 裕子

兵頭 嘉寛

大嘉

海音

浅野 勇一郎

迦恋

はじめまして。赤ちゃん。

12月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

12月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。